

2024年度版

環境経営レポート



活動期間：2023年11月1日～2024年10月31日

株式会社 安井建設

作成日：2025年 2月27日

株式会社 安井建設

代表取締役 安井英二

エコアクション21審査資料

＜2024年 中間審査 7＞

1. 組織の概要（環境経営レポート）
2. 環境経営方針（環境経営レポート）
3. 実施体制（環境経営レポート）
4. 環境経営目標と実績の推移（環境経営レポート）
5. 活動の結果と評価（環境経営レポート）
6. 活動事例紹介（環境経営レポート）
7. 環境関連法規等の確認
8. 取組に必要な場合の手順書
9. 環境上の緊急事態の対応に関する試行及び訓練の結果
10. 外部からの苦情などの受付状況及び対応結果
11. 問題点の是正処置及び予防処置の結果
12. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果
13. 環境の負荷の自己チェック（建設業、産業廃棄物処理業）

株式会社 安井建設

目次	1. 組織の概要
	2. 環境経営方針
	3. 活動組織及び役割分担
	4. 環境経営目標と実績の推移
	5. 活動計画及び結果、評価
	6. 適合法令と順守確認
	7. 代表者の見直し
	8. 活動事例紹介

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

事業所名	株式会社 安井建設
代表取締役	安井 英二

(2) 所在地	本社	〒385-0043
	住所	長野県佐久市取出町450-5

(3) 環境管理責任者・連絡先

責任者	安井 淳子
事務局	河副 秀隆
連絡先 TEL:	0267-62-2848
FAX:	0267-62-1798
E-mail:	snxhg068@ybb.ne.jp

(4) 事業内容と認可内容

① 総合建設業	長野県知事許可(特-4)第3710号	有効期限 令和9年10月21日
---------	--------------------	-----------------

(	・土木工事業.建築工事業.大工工事業.とび土工事業.石工事業.屋根工事業. ・タイル、れんが、ブロック工事業.鋼構造物工事業.舗装工事業.解体工事業 ・しゅんせつ工事業.塗装工事業.内装仕上工事業.造園工事業.水道施設工事業	)
---	--	---

② 産業廃棄物収集運搬業	長野県知事許可 2000028123	新規許可 平成2年1月17日 有効期限 令和12年1月16日
--------------	--------------------	-----------------------------------

許可品目

木くず、がれき類、廃プラスチック、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、
石綿含有建材(廃プラスチック類、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類)

③ 産業廃棄物処分業	長野県知事許可 2020028123	
(クリーンステーション)(産業廃棄物中間処理場)		新規許可 平成7年9月27日
佐久市前山1816-17 TEL 0267-63-5770		有効期限 令和7年9月26日

許可品目 中間処理(破碎、切断、熔融固化)

・木くず、ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類、金属くず、廃プラスチック

施設概要

がれき類の移動式破碎施設(固定式兼用)	処理能力 1,040t/日
木くずの移動式破碎施設(固定式兼用)	処理能力 512t /日
ガラスくず、陶磁器くず(石膏ボード)の破碎施設	処理能力 4.8t /日
ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くずの破碎施設	処理能力 4.8t /日
切断施設	処理能力 16.5t/日
プラスチックの溶融固化施設	処理能力 0.8t/日

④ 太陽光発電事業

北川太陽光発電所	佐久市北川374	
	敷地面積 3,170㎡	出力 250kw
臼田太陽光発電所	佐久市滝の沢4211他	
	敷地面積 22,000㎡	出力 999kw
臼田2号太陽光発電所	佐久市大沢1337-1他	
	敷地面積 15,866㎡	出力 750kw
臼田3号太陽光発電所	佐久市臼田4142-1他	
	敷地面積 5,805㎡	出力 400kw
※ 根岸太陽光発電所	佐久市根岸4144-4他	
	敷地面積 5,293㎡	出力 350kw

※ 次回、更新審査時に拡大予定

⑤ 事業規模

創業	昭和41年8月
設立	昭和47年1月
資本金	40 百万円
売上高	832 百万円
従業員数	35 名

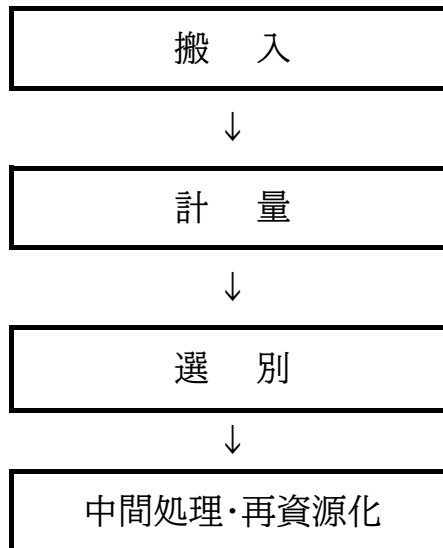
本社	事務所	238㎡	敷地面積	965㎡
	駐車場	450㎡		

クリーンステーション

事務所	26.7㎡	敷地面積	17,740㎡
上屋	831㎡		

産業廃棄物処理工程図

株式会社 安井建設



廃棄物の種類	がれき類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	木くず
主な品目	コンクリート殻 アスファルト殻 レンガ等	ガラス類 陶磁器類 廃石膏ボード等	プラスチック 発泡スチロール 合成高分子系化合物	鉄くず アルミ 金属製建具等	解体木材 伐採木
	↓	↓	↓	↓	↓
処理方法	破 碎	破 碎	溶融固化	切 断	破 碎
	0～40mm	0～40mm	減量化	減量化	0～40mm
	↓	↓	↓	↓	↓
最終処理	自 社	自 社	埼玉エコロジー(株)	(株)稲荷山	自社・(株)バイオマス群馬
再資源化品	RC碎石・再生砂	路盤・舗装材料・固形燃料	固形燃料	金属資源	チップ材・バイオマス発電燃料
利用先	各業者 官庁	ASプラント会社・自社。火力発電所他	火力発電所他	金属加工所	造園業者・酪農家他・電力会社

産業廃棄物運搬車両一覧

(様式14-2) 【省令様式第6号の2 (省令第9条の2関係)】

3.運搬随段の概要 (1)運搬車両一覧					
	車体の形状	自動車登録番号 又は車両番号	最大積載量 (kg)	所有者又は使用者	備 考
1	ダンプ	長野 111み 454	6,300kg	(株)安井建設	がれき類、コンクリートくずは 運搬しない
2	//	長野100は1705	9,500kg	//	
3	//	長野100は1706	9,500kg	//	
4	//	長野100は2814	8,000kg	//	
5	//	長野1 0 0す1831	3,750kg	//	
6	//	長野400ち5825	2,000kg	//	
7	//	長野400ち8147	2,000kg	//	
8	//	長野100は2804	9,300kg	//	がれき類、コンクリートくず心 園般しない
9	脱着装置付コンテナ 専用車	長野100す9575	3,750kg	//	
10	ダンプ	長野100す9576	1,850kg	//	がれき類、コンクリートくず(お 西般しない
11	キャブオーバ	長野 45す5495	2,000kg	//	
12	ダンプ	長野100は3302	8,500kg	//	
13	//	長野100は3623	8,200kg	//	
14	//	長野100せ4114	4,000kg	//	
15	//	長野400つ9221	2,000kg	//	
16					
事務所の所在地		長野県佐久市取出町450番地5			
駐車場の所在地		長野県佐久市取出町449番地1			
(2)その他の運搬施設の概要					
運搬容器等の名称		用 途	容 量	備 考	
水銀使用製品回収ボックス		水銀使用製品産業廃棄物	0.2m ³		

産業廃棄物処分実績報告書（2024年度）

(株)安井建設

産業廃棄物の種類	県内からの受託量 (t)	県外からの受託量 (t)	受託量合計(t)	中間処理	量(t)	最終処分量 (t)	処分量合計 (t)
がれき類	1,145.0	0.0	1,145.0	破碎	1,145.0	0.0	1,145.0
木くず、伐採木	4.5	0.0	4.5	破碎	4.5	0.0	4.5
ガラス・コンクリート・陶器くず	0.6	0.0	0.6	破碎	0.6	0.0	0.6
廃プラスチック 他	0.9	0.0	0.9	溶融固形化	0.9	0.0	0.9

産業廃棄物収集運搬実績報告書（2024年度）

産業廃棄物の種類	県内からの受託量 (t)	県外からの受託量 (t)	受託量合計(t)
がれき類	334.8	0.0	334.8
廃プラスチック 他	0.5	0.0	0.5
	0.0	0.0	0.0
	0.0	0.0	0.0

環境経営方針

《基本方針》

私たちは一致団結して、環境に配慮した事業活動を展開します。事業で発生する建設副産物は全てが資源である事を旨に、環境負担への低減や社会貢献する製品を提供し、自主的、積極的に地球環境への取組を推進します。

《活動方針》

1. 業務車輛の燃料消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 再生可能エネルギー関連事業の活用推進
3. 水資源の有効利用と使用水量の削減に努めます
4. 原材料及び事務用品等のグリーン購入を推進
5. 社会貢献として事業所周辺の清掃活動を行います

道路交通法・環境関連法規制や当社が約束した事を遵守します。

制定日 2011年11月20日

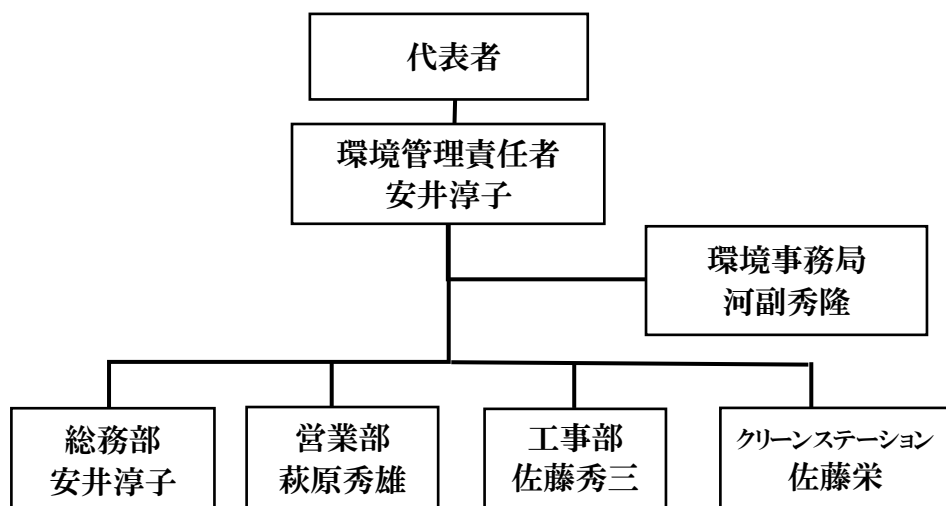
改定日 2021年11月1日

株式会社 安井建設

代表取締役 安井 英二

3. 実施体制

1) 活動組織図



※ 各テーマ別のグループを結成、責任者を任命して、改善活動を推進

2) 責任及び権限

代表者	- 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 - システムの構築・運用及び管理に必要な資源を用意する。 - 環境方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。 - 代表者による全体の評価と見直し及び指示を行う。
管理責任者	- 代表者に代わりシステムの構築・運用状況を監視し、結果を代表者に報告する。 - 推進委員会を定期的に開催し、活動内容と問題点の確認と改善を指示する。 - 関連法規、等及び最新情報の収集と実行、順守確認のまとめ及び管理。 - 環境経営目標を設定し、各部門の活動計画を確認と承認する。 - 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。
事務局	- 環境管理責任者の補佐、推進委員会の事務局。 - 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成。 - 環境経営目標・活動計画原案の作成及び実績の取りまとめ - 活動の実績結果を収集、環境管理責任者に報告する。 - 環境経営レポートの作成と公開（社内への説明・備付けと地域事務局への送付） - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者	- 自部門に関連する環境経営目標及び活動計画の実施及び達成状況の報告。 - 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 - 業務上必要な手順書の作成及び運用、管理。 - 緊急事態の想定及び対応のための手順書作成、テスト・訓練の実施と記録。 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。
全従業員	- 環境経営方針、環境経営目標を基に定められた活動計画に従い業務を遂行する。 - 環境負荷の低減、施工品質の向上、安全の確保と業務の改善提案を実行する。 - 異常時、緊急事態発生時の通報及び初期対応を実施、結果を報告する。 .

4. 環境経営目標と実績の推移

環境目標・取り組みの基本方針

エコアクション21環境経営システム改定の趣旨に沿って、新規に組織を再編成して取り組みを推進する。
基本に戻って環境方針及び目標を見直して再設定、取り組みの自己チェックシートの結果から活動の内容を決めた。全員参加で中期的に活動を推進し、効果を高め企業価値の向上を目指す。

1) 中期数値目標と結果

※上段計画、下段実績

環境経営目標		2020年度 (基準年)	2022年度			2023年度			2024年度			記 事
1	CO2排出量 ※1 (Kg-CO2)	646,032	目標	633,111	2%	626,651	3%	620,191	4%	電力・燃料からの 総排出量		
			実績	705,065	×	443,379	○	614,487	○			
2	電気使用量の削減 (kWh)	59,095	目標	57,913	2%	57,322	3%	56,731	4%	事務所及びCS、ソー ラー発電等の電力		
			実績	63,459	×	52,726	○	75,611	×			
3	ガソリン使用量の削減 (ℓ)	17,164	目標	16,821	2%	16,649	3%	16,477	4%	社有車のガソリン		
			実績	15,524	○	14,977	○	23,725	×			
4	軽油使用量の削減 (ℓ)	193,095	目標	189,233	2%	187,302	3%	185,371	4%	重機車両の軽油		
			実績	227,660	×	135,962	○	189,640	×			
5	灯油使用量の削減 (ℓ)	32,996	目標	32,336	2%	32,006	3%	31,676	4%	事務所・現場事務所の 灯油		
			実績	21,591	○	13,891	○	14,301	○			
6	ガス(LPG)使用量の削減 (kg)	222.8 2021年実績	目標	222.8	1%	220.5	2%	218.3	3%	事務所及び現場での使用 (今期より研修生寮含む)		
			実績	297.7	×	267.2	×	785.3	×			
7	水使用量の削減 (m ³)	222.0	計画	217.6	2%	215.3	3%	213.1	4%	事務所、現場置場の 水道(今期より研修生寮含む)		
			実績	216.4	○	530.0	×	1071.0	×			
8	一般廃棄物の削減 (kg)	699	計画	692	2%	678	3%	671	4%	事務所及び現場 処理委託量		
			実績	596	○	461	○	598	○			
9	産業廃棄物削減 (t)	4,232	計画	4,147	2%	4,105	3%	4,063	4%	現場からの廃棄物 (処理委託量)		
			実績	3,806	○	4,445	×	15,758	×			
10	環境配慮工事の施工 及び提案	2件	計画	2	-	2	-	2	-			
			実績	0	×	0	×	0	×			
11	地域の環境保全活動 への参加	2回	計画	2	-	2	-	2	-	佐久市アダプトシステム 事業活動		
			実績	0	×	2	○	2	○			

※1 CO2排出量産出基準

購入電力排出係数は、中部電力2019年調整後 **0.426** kg-CO2/kWhを使用

2) 来期への目標と計画

2024年度については工事件数は昨季よりも少なかったものの、大規模解体工事および舗装工事が多かったため産業廃棄物、エネルギー使用量は例年に比べ大幅に増えていますが、結果的にCO2排出量のついては計画をクリア。
また一部項目で目標数値と大きく乖離があるため、今後目標数値の見直しを検討する必要があります。
現状では工事の受注、工事内容に左右されますが、来期以降の計画については削減率を年毎0.5%に再設定し改めて現場の状況を把握していき、活動を行って参りたいと思います。

5. 活動の結果と評価、次年度の取り組み

	活 動 計 画	評価	取 組 の 結 果	今 後 の 取 組
二酸化炭素排出量の削減	1. 電力使用量の削減		事務所で昼休時の消灯およびエアコンフィルターの清掃が十分ではなかった。	使用しないときの消灯の徹底、日々の清掃も含めて行っていく。
	・不要時の消灯徹底、昼休みの消灯	△		
	・エアコンの温度設定(冷房28℃、暖房20℃)	○		
	・エアコンフィルター定期清掃	△		
	・照明器具の定期清掃	△		
	2. 燃料(ガソリン/軽油)使用量の削減		石油ストーブは昨年より管理温度を低くし、時には消火をしてエアコンと組み合わせで稼働させている。	休憩時などエンジンストップの徹底(特に重機、大型車両) 運転手、オペレーターへの声掛けを継続的に行って行く。古くなった掲示物の差し替えを行い、周知させていく。
	・車輛、機械のアイドリングストップの実施	○		
	・エコドライブ10の推進	△		
	・早めのメンテナンス実施(全社員)	△		
	・事務所ストーブの温度管理 16℃以下	○		
廃棄物削減	3. 一般廃棄物の削減		新聞紙、ダンボール等全て資源化 プラも分別リサイクルでの処分を引き続き行っている	紙類だけでなく金属類など分別の徹底も引き続き行う。
	・社内文書の電子化	△		
	・両面コピー、裏紙使用	△		
	・分別リサイクル	○		
	4. 産業廃棄物の分別とリサイクル		解体現場だけでなく、土木工事等現場でも廃棄物区分けは問題なく日々行われている。	引き続き工事現場置場で明確に分類表示して、責任者は確認を行う。
	・分別の徹底と再生利用の促進	○		
	・残余資材の活用	○		
	・3Rを推進	△		
用水	5. 水使用量削減		できる範囲内で河川水の利用、給水車を使用し節水を心掛けた。	現場では給水車、河川水を出来るだけ利用するように働きかける。
	・事務所の節水、現場での河川水利用	△		
	・自社給水車の稼働率をあげる	△		
G調達	6. グリーン購入活動		エコマーク商品の優先購入、バイオオイルの利用も行われなかった。	以前に購入実績のあるエコマーク商品をリストアップし、リピート購入を促す。備品の新規購入の際にもエコマーク商品の検討を行っていく。
	・事務用品のエコマーク商品の購入	×		
	・バイオオイル等研究し、利用を図る。	×		
社会貢献	7. 地域活動		今年も除雪作業、アダプト活動を行い、近隣地域の環境保全活動を継続している。	作業現場、土場、モータープール等の自社敷地管理も引き続き行っていく。
	・地域清掃への参加	○		
	・事業所周辺の定期清掃	△		
業務改善	8. 環境配慮工事と施工他		現場では近隣の状況に配慮して工事を行っている。	自社敷内にある原材料、産廃物の整理、管理を今まで同様に行ない、無駄なく使用、管理していく。
	・実施可能な環境配慮工法を探究する	△		
	・3S活動の推進	△		
	・再生可能エネルギー活用	△		

6. 環境経営目標(中期計画)

環境目標・取り組みの基本方針

過去3年の実績から毎年の受注する工事内容等で産業廃棄物、エネルギー使用量の変動が大きく、一部項目で目標数値と大きく乖離があるので今後目標数値の見直しを行います。

来期以降の計画は今期実績をベースに削減率を年毎0.5%に再設定し改めて現場の状況を把握し、活動を行って参ります。

1) 中期数値目標

環境経営目標		2024年度 (基準年)		2025年度		2026年度		2027年度		記 事
1	CO2排出量 ※1 (Kg-CO2)	614,487	計画	611,415	0.5%	608,342	1%	605,270	1.5%	電力・燃料からの 総排出量
2	電気使用量の削減 (kWh)	75,611	計画	75,233	0.5%	74,855	1%	74,477	1.5%	事務所及びCS、ソー ラー発電等の電力
3	ガソリン使用量削減 (ℓ)	23,725	計画	23,606	0.5%	23,488	1%	23,369	1.5%	社有車のガソリン
4	軽油使用量の削減 (ℓ)	189,640	計画	188,692	0.5%	187,744	1%	186,795	1.5%	重機車両の軽油
5	灯油使用量の削減 (ℓ)	14,301	計画	14,229	0.5%	14,158	1%	14,086	1.5%	事務所・現場事務所の 灯油
6	ガス(LPG)使用量の削減 (kg)	785.3	計画	781	0.5%	777	1%	774	1.5%	事務所及び現場での使 用
7	水使用量の削減 (m ³)	1,071.0	計画	1065.6	0.5%	1,060	1%	1,055	1.5%	事務所、現場置場の水 道
8	一般廃棄物の削減 (kg)	598	計画	595.0	0.5%	592	1%	589	1.5%	事務所及び現場 処理委託量
9	産業廃棄物削減 (t)	15,758	計画	15,679	0.5%	15,600	1%	15,522	1.5%	現場からの廃棄物 (処理委託量)
10	環境配慮工事の施工 及び提案	2件	計画	2	-	2	-	2	-	
11	地域の環境保全活動 への参加	2回	計画	2	-	2	-	2	-	佐久市アダプトシステム事業活動

※1 CO2排出量産出基準

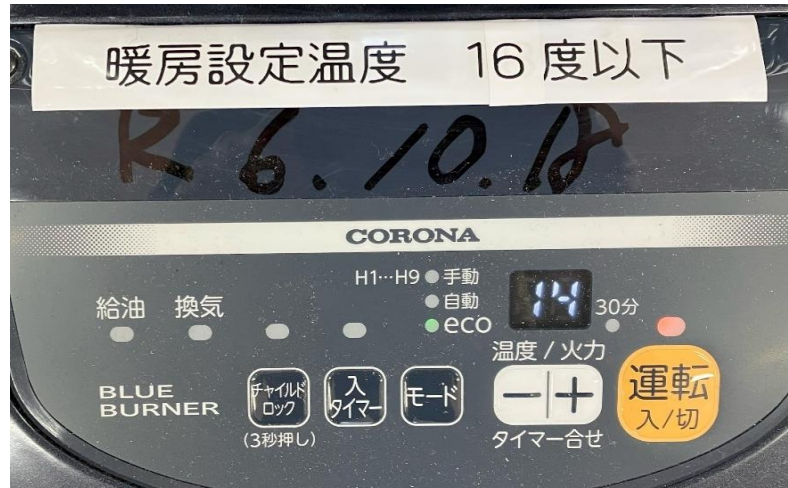
購入電力排出係数は、中部電力2019年調整後 **0.426** kg-CO2/kWhを使用

7. 活動事例紹介

事務所内の節電表示



事務所石油ストーブの温度管理



佐久市におけるボランティア作業(2024年6月 佐久市アダプトシステム事業)



8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

当社の業務に適用となる義務規定(一部それ以外を含む。)の主な環境関連法規等とその主な内容、

注)チェック欄…○:遵守 ×:不遵守 ✓:該当なし確認 (―:判断なし)

法規制等の名称	適用される事項 (施設、物質、事業活動)	証拠書類、等	判定
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、 廃プラ、廃油等)の適正処理	契約書・許可書	○
		マニフェスト	○
騒音規制法	指定地域における建設作業と届出	届出書	○
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	届出書	○
下水道法	使用時の申請	届出書	○
フロン排出抑制法	第1種特定製品の修理・処分	引取証明書	○
消防法(危険物)	少量危険物の貯蔵(防油堤)と取扱い	オイルフェンス設置、等	○
道路交通法	道路における工事・作業の許可申請	道路使用許可申請	○
労働安全衛生法	使用化学物質のSDS入手と掲示	SDS掲示	○

※事業規模等から適合されないものもあるが、取り組み対象として推進する。

※環境関連法については登録チェックリストにより、2024年12月1日 管理責任者 安井が
確実に法規を遵守していることを確認しました。

(2) 違反及び訴訟の有無

過去3年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟もありませんでした。

7. 経営者の評価と見直し

【取り組みの評価】

今期は大規模な解体工事や軽井沢地区での現場もあり、燃料使用量や産業廃棄物の量は大幅に増えましたが、結果的に全体で目標のCO2排出量をクリアできました。

車両、重機の整備、メンテナンスの重要性を日々従業員に向け発信していることも環境負荷軽減につながると考えており、今後においても引き続きエコドライブ、アイドリングストップも含めて工事現場、事務所共に節約を心掛けて仕事を行って参ります。

【今後の取り組みと指示】

例年同様、受注工事量により燃料使用量、産業廃棄物量が大幅に変わってきますので具体的な数値だけでなく日々の取り組み意識の浸透、地道な活動を引き続き行って参ります。

また産業廃棄物の分別リサイクル、地域でのアダプト活動、会社周辺、工事現場のクリーン活動等を通して環境保全に貢献するようエコアクション活動を継続して参りたいと思います。

環境関連法規等の取りまとめ/遵守評価の記録

					承認	確認者	作成者
					安井	安井	河副
法律の名称	当社の適用される要求事項	規制内容・規準 (自主基準)	届出報告	責任部門	遵守評価		確認日
					評価時期	記録等	2024.12.1
道路交通法	【道路使用の許可】 道路においての工事又は作業を行おうとする者	規制遵守 近隣地域に事前説明	市道 市 国道 県	現業部	工事完了前	許可証 説明資料	(適) 否
	【道路占用の許可】 水道管、下水管、ガス管その他 これに属する政令で定める物件	規制遵守 近隣地域に事前説明	市道 市 国道 県	現業部	工事完了前	許可証 説明資料	(適) 否
道路運送車両法	【定期点検】 自動車運送事業用(8t)以上の自家用自動車 は1年毎に点検	始業前点検	陸運局	現業部	年2回	車検証	(適) 否
建設リサイクル法	【建設工事の事前届出】 新築又は増改築500㎡以上 解体工事 80㎡以上	受注時 書面作成	県知事	現業部	届出毎	届出控	(適) 否
騒音規制法	【特定建設業者の届出】	近隣地域に事前説明	市町村長	現業部	年1回	届出控	(適) 否
消防法 (消防法第17条)	消火器の設置 消火設備の届出	法の遵守	各消防署	現業部	年1回 設備点検	届出控	(適) 否
廃掃法	【産業廃棄物管理票の適正な管理、運用】 産廃、運搬、処分契約書の作成 各票の返却期日の管理、管理交付票報告	法の遵守 長野県への報告	県環境課	現業部	年1回	届出控	(適) 否
建築基準法	【除却届】 工事の床面積が10㎡を超える建築物の除却 工事	書類提出 着手7日前	佐久市建築課 佐久建設事務所	現業部	届出毎	届出控	(適) 否
ダイオキシン類特別処 置法	【特定施設設置届・焼却炉】 ばい煙、焼却灰のダイオキシン測定 測定結果の県への報告	測定結果報告 年1回	佐久地域振興局 環境課	現業部	測定後	書面控	(適) 否
フロン排出抑制法	・フロン使用機器廃棄時の回収 事務所使用のエアコンの自主簡易点検	許可業者委託			発生時	引取証	(適) 否

2024年12月1日 環境関連法規制の遵守状況を確認した結果、環境法規等の違反、訴訟はありませんでした。

火災対応手順書

目的	火災が発生しないように予防を行う。火災発生の場合、緊急対応を適切に行うことにより従業員と近隣住民の安全及び火災による環境汚染を防止する。	
NO	作業手順	ポイント
0	(予防) ・たばこは所定の場所で喫煙する。 ・危険物保管場所は火気厳禁とする。 ・漏電の点検の実施。	・喫煙スペースで吸殻入れには水を入れておく ・消火器は随時点検し、有効期限を確認する *消火器は離れたところからもすぐに分かるように表示を行う
1	(火災発生) ・発見者は周囲へ火災発生を知らせる ・電話で本社へ火災発生を告げる。 *火災発生連絡を受けた人は (1)出火場所と非難要請を伝達する。 (2)消防署に社名、住所、火災の状況を連絡する。	・人身の安全を最優先する 消防署 119番
2	(消火活動) ・近くにガス器具がある場合は元栓を止める。 ・消火には近くの消火器、水により消火作業を行う。	・消防署到着までとする
3	(避難・誘導・安否確認・資産保全) ・部門長は社員、住民を非常口、避難場所に誘導する。 ・工事現場は代理人が対応を行い、会社に連絡を入れる。 ・事業継続に係る資産(現金、資料、データベース等)の保全、持ち出し	避難場所を常に確認しておく 非常口を妨害するものが置いていないか確認
4	(警備) ・消防署の到着時、現場に案内する。 ・車両進入路の確保	警察署到着まで不審者を警戒
5	(訓練・テスト及び評価・見直し) ・毎年1回訓練を兼ねた消火テストを実施し、手順の有効性や訓練の妥当性を確認する。 ・火災発生時は原因を突き止め、再発防止のための手順を見直し、改定する。 ・手順書を改訂した場合は必要に応じて再訓練(テスト)を行う。	消火訓練 毎年9月に訓練記録を残す。 訓練時に消火器の有効期限が切れていないかを確認する。 訓練:決められた手順通りにできるようにすること テスト:手順が適切であるか 機能が正常であるか決められた手順通りに行動できるか

3	2025.3.28 河副	内容及び対応、一部加筆修正	承認	安井
2	2021.3.16 鷹野	内容及び対応、一部見直し	承認	安井
版				
初	2010.12.20	作成 佐藤 信介	承認	安井

油漏れ対応手順書

目的	この手順書は自社のみでなく、近隣で発生した油漏れにも適切な対応を行なうことにより、環境汚染を防止する。	
NO	作業手順	ポイント
0	(予防) ・灯油タンクバルブ締め確認 ・防油堤の設置 ・2次側ホースの確認	・給油が終わるまで目を離さない ・長期不使用の場合は元バルブの閉鎖 ・ゴム製給油ホースの場合、ホース本体の劣化、ジョイント部の漏れ等を確認
1	(油漏れ発生) ・油漏れの原因を確認する ・貯油タンクの元バルブを閉める ・オイルペーパー等の準備	・流出量の把握のため、普段から貯油残量を確認しておく ・土壌汚染及び排水桝を通じて、用水、下水道への流出が無い確認
2	(対応) ・汚染箇所にオイルペーパーを敷く ・付近の排水桝、マンホール等の蓋を開けて、汚染状況を確認する ・関係各署に連絡する	関係各署(汚染が敷地外へ拡散) 消防署 佐久市役所 生活環境課 佐久地方事務所 生活環境課
3	(対応) ・汚染土(物)等の除去 ・汚染土(物)等の搬出 ・汚染土の入れ替え	マニフェストを発行して処分(焼却)する
4	・貯油槽の周りの点検	・オイルペーパーの在庫確認 ・事業所の雨水排水経路を確認
5	(訓練評価・見直し) ・毎年1回訓練を実施し、手順の有効性や訓練の妥当性を確認する。 ・手順書を改訂した場合は必要に応じて再訓練(テスト)を行う。	訓練及び点検 毎年10月

初	2011.1.20	作成 佐藤 信介	承認	安井

緊急事態及び想定訓練の記録

承認	作成
安井	鷹野

区 分 ☐ 緊急事態発生 ☒ 緊急時訓練 ☐ その他 ()			
実施日	令和 6年 9月 21日 17時00分～ 17時30分		
場 所	(株)安井建設 駐車場 佐久市取出町		
担当部署		責任者	鷹野 五輪
参加者	鷹野 五輪	上田 国博	
	佐藤 秀三		
	土屋 功		
内 容	・火災発生時の訓練 ・地震発生時の訓練 ・緊急連絡先の確認		
結 果	・消火器は全員が操作を行った。 ・地震発生を想定し、すばやく外に避難する。		
問題点課題	・消火器の有効期限を確認した。 ・事務所、倉庫の棚も整理しておく。 ・社員連絡網が更新されておらず古かった。		
再発防止策	・油性の物は所定の場所に管理 ・事務所内書類の更新・整理等の管理を行う		
確認事項			
使用手順書		変更の要否	要 ☒ 否
記 事			
従業員全員に消火器の使い方を覚えてもらう。			
地震を想定して動線上に落下物がないか確認。			

- ・緊急事態対応訓練（テスト）を実施した場合に記録する
- ・テストは手順が有効であるか、機器が適切に機能するか、手順書通りに実施できたかを確認すること
- ・重大な緊急事態が発生した場合は、問題点処置票を用いて再発防止と類似事態の発生の予防策を行う

問題点是正／予防処置票

問題点の処置の手順

- ①問題点が発生したら、すぐに応急処置をとる
- ②問題点発生の原因を突き止める
- ③問題点を取り除く処置(是正＝再発防止)をとる
- ④必要に応じて予防処置を取る(水平展開、未然防止)

1. 是正が必要な事項

☐環境経営システム ☐環境目標・活動計画 ☐事故 ☐外部からの苦情 ☐法規 ☒その他

発生日	2023年10月	
内容	臼田ソーラー発電設備のケーブル等が夜間何者かに盗まれてしまった。 他でも同様の被害が起きているとの事。高値で買い取られる銅線が使われているケーブルを引っ張り切断して持っていかれてしまった。 1ヶ月後、再度盗難にあう。	報告者 佐藤
原因	発電所の敷地の入口は鍵がかかっているが、上は高速道路があり、周囲は民家などがないため暗く盗みに入りやすいと思われる。	確認 安井
対応	警察にすぐ連絡し現場検証してもらい、ソーラー保険の会社にも連絡をした。 監視カメラの発注、夜間の見回り、鍵の確認。	責任者 安井

2. 是正処置(再発防止)

是 正 処 置 の 内 容	結 果 確 認	報告者
		佐藤
		責任者
		安井
《対策/処置結果の評価》 最初の盗難の後、続けて同じ所に来るとは思って いなかったため、十分なセキュリティ対策を取って いなかった。被害のなかった発電設備はまだ多く あり、もっと警戒するべきであった。	対策処置の結果(写真、等) 	

3) 予防処置(潜在的な原因の除去)

☐必要

☐不要

予 防 処 置 の 内 容	結 果 確 認	報告者
監視センサー、照明を設置して夜間でも明るい状態にし警備をセコムに依頼、警報装置の設置を行う。 他の場所のソーラー発電所にも同じく対策を行い、合わせて日々の発電量を発電管理システムで確認し、定期的に現地を訪れチェックをしていく。 2024年2月より運用開始。	現状、大きな問題なし。 引き続き継続して対応していく。	河副 承認 安井

問題点(不適合)とは：環境関連法規制の逸脱、決められた事項が守られていない状況、その他代表者及び環境管理責任者が問題点として指摘した事項

2024年度

代表者による全体の評価と見直し
(適切性、妥当性、有効性の評価)

《審査資料-14》

作成者	代表者
2025.2.27	2025.2.27
安井	安井

実施日:2025年2月27日

見直しに必要な情報					変更の必要性の有無・指示事項	
[取り組み状況の評価結果] 1.環境関連法規制等の順守状況（環境関連法規等順守記録による） ・評価を実施した結果、法令が遵守されている事を確認した。 2.問題点の是正及び予防、リスクへの対応 3.前回までの代表者の指示事項への対応 重点目標である燃料消費削減を、現場責任者を中心に意識して仕事を行う。 4.前回 審査指摘事項への対応 現在の活動を社内会議、朝礼を通して従業員に伝達していく					[環境経営方針] 環境経営方針に変更はありません。 変更の必要性： 有 ☒ 無	
					[目標・活動計画] 仕事での無理、無駄をなくし、3Rの推進活動 車両、重機の安全運転により事故及び修理等をなくす 引き続き燃料消費削減を考えて仕事を行う。 変更の必要性： ☒ 有 無	
					[環境経営システムの各要素]	
[活動目標と実績]（詳細は環境活動計画書による）						
目 標 項 目	目標値	実績値	判定	記 事・コメント		
CO2排出量(kg-CO2)	620,191	614,487	○	昨年に比べ工事件数は減少したが、大規模の解体工事や舗装工事も多く、産業廃棄物、エネルギー使用量が増加しました。		
電気使用量(kwh)	56,731	75,611	×			
ガソリン使用量(L)	16,477	23,725	×			
軽油使用量(L)	185,371	189,640	×			
灯油使用量(L)	31,676	14,301	○			
LPG使用量(kg)	218.3	785.3	×			
産業廃棄物	4,063	15,758	×			
[周囲の変化の状況など] ISO45001による労働安全衛生と合わせて3S活動が徐々に進んでいます。					総合評価と次年度の指示 2024年度は工事件数は昨季よりも少なかったものの、大規模解体工事および舗装工事も多く産業廃棄物、エネルギー使用量は例年に比べ大幅に増加したがCO2排出量のについては計画をクリア。一部項目で目標数値と大きく乖離があるので今後目標数値の見直しを検討する必要があると考えます。現状では工事受注、内容に左右されるが、来期以降の計画は削減率を年毎0.5%に再設定し改めて現場の状況を把握していき、活動を行って参ります。	